

一般社団法人 東京林業土木協会

第53号

会報

〒135-0016 江東区東陽4-11-38 令和7年1月1日発行（年1回発行）編集・発行人 小松 弘之



茨城県日立市 十王ダム

目次

新年のご挨拶【東京林業土木協会会長 河津 市元】	1
年頭のご挨拶【関東森林管理局東京事務所長 畑 茂樹】	2
令和6年度 主な協会活動報告	3
・東京林業土木協会定時総会及び治山・林道工事コンクール受賞報告会	3～4
・林野庁長官賞「治山・林道工事コンクール表彰式」	5
・林土連定時総会での表彰	5
・関東森林管理局長賞「治山・林道工事コンクール表彰式」	6
・「治山・林道工事コンクール」受賞工事	7
・三嶋大社で「安全祈願」	7
・令和6年度「東京協会幹部視察研修会」	8
・「森林土木工事における適正な発注事務に関する説明会」に参加	9
・森林土木施工管理講習会を開催	9
・林土連及び各協会で講習「小野建設(株)」	10
・能登半島地震に係る「災害義援金」寄附	10
・林土連「技術現地研修会」(広島)を開催	11
・林土連「技術担当者連絡協議会」に出席	12
・林土連「コンプライアンス講習会・労働災害防止研修会」を受講	12
・「2024治山・林道のつどい」へ参加	12
・令和6年度 技術安全会議及び安全パトロール	13～14
・令和6年度 ボランティア活動実施状況	15～16
・「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査」	17～18
・第27回「森林は友達！作文コンクール」を開催	19～22



新年のご挨拶

会長
河津市元

新年明けましておめでとうございます。
新春を迎え、皆さま方のご多幸と会社のご繁栄を心よりお祈り申しあげます。



私の会社の前を流れる稲生沢川は豪雨のたびに土泊色に濁り、その河口の下田港に土砂が堆積をします。伊豆諸島へ運行するフェリーが干潮時に底をつき大きな騒ぎとなり、急遽浚渫をする事案が発生しました。山林に手が入らず、間伐材もその場に置き去りになり、拡大繁殖する獣害鹿が下草を食べつくして黒い表土が表しになる山林の姿は全国あちらこちらに見られる光景であります。災害列島日本の山林の維持管理が大きな

問題になってきています。国土強靱化、緑の国土強靱化を急がねばならないと思う今日です。山林ばかりでなく、他の多くのインフラの維持管理は予算上も厳しく、持続可能な社会インフラとして将来にわたり、その機能を維持していく為に現状の予算仕組みとは違う、新たな仕組みや方法を取る必要がある？と心配をする今日である。

森林環境税が去年の4月から一人一〇〇〇円実施され地方自治体に配分され始めています。この新しい税の仕組みを活用して地方の山林が生き生きとした山林に蘇り、そこで働く人びとの人生の生きがいにつながっていくことを願って止みません。

日本の国土8割を占める森林は戦後80年伐採期を迎え

豊かな木材の活用が求められています。ビジネスとして成立する仕組み、維持管理しながら将来にわたり産業として成立していく仕組みが必要です。林野庁はグリーン成長の計画を掲げていますが、ビジネスとして独立自立する方法が急がれます。また森林にはカーボンニュートラルの機能が期待されており社会の追い風が吹いている現状を活かす事が大切だと思います。

この森林を守り、木材伐採の林道を整備する私達の仕事も価値あるものと考えますが、いっぽう業界は疲弊しており高齢化が進み若い担い手が見つかからない現状が続いております。

木材産業を活性化し、豊かなビジネスに仕立て、平地と異なる高難易度の作業環境下

での建設の仕事に適正な評価をしていただくこと、そして評価に見合う価格補正を期待しております。

私達も仕事をさせて戴く有り難さと共に、現場の厳しい現況を行政や地域社会に訴え続けていきたいと思います。



松村局長現場巡視（伊豆署管内）



年頭のご挨拶

関東森林管理局 東京事務所長

畑 茂 樹

新年明けましておめでとうございます。令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

東京林業土木協会会員の皆様には、国有林野事業の推進にあたり、日頃より格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。治山事業や林道事業の実施を通じた国土強靱化やグリーン成長への貢献、災害発生時の山地災害ボランティア活動など、多方面にわたるご協力に感謝いたします。また、子供たちへの森林・林業の普及啓発として「森林は友達！作文コンクール」を主催していただくなど、多岐にわたる取り組みにも重ねて御礼申し上げます。

昨年1月1日16時10分に、石川県能登地方を震源とする最大震度7の能登半島地震が発生し、一年が経過しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、住まいが倒壊するなど被害を受けた方々に心からお見舞い申し

上げます。東京林業土木協会の皆様には、地震への対応にあたり支援物資等の情報提供にご協力いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。関東森林管理局においても、ヘリ調査や山地災害緊急展開チームによる職員派遣など、被災した民有林の早期復旧に向けた支援を行いました。

昨年9月には、復興の途上にある輪島市、珠洲市及び能登町などで記録的な大雨（奥能登豪雨）が発生しました。近年は、気候変動に伴い短時間豪雨の増加や強度の強い豪雨が長時間継続するなど、降雨形態の変化により災害が激甚化する傾向にあります。昨年は、関東森林管理局管内では、8月末の台風10号により群馬森林管理署や天竜森林管理署管内で、11月上旬の大雨により静岡森林管理署管内で、林地荒廃や林道施設被害が数多く発生しました。管内全体では、昨年中に林地荒廃18か所（治

山施設災害2か所を含む）、林道施設253か所などの被害が発生し、特に林道施設については全体の約7割に当たる179か所が静岡県内での発生となっていました（令和6年11月28日現在）。

地域住民の生命や財産を守るためには、防災・減災対策を着実に進めるとともに、災害が発生すれば速やかに被災地の復旧を行う体制が極めて重要と考えています。関東森林管理局としては、令和7年度においても、関係機関と連携しつつ、災害防止・復旧対策にしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

一方、昨年は残念ながら、管内の素材生産、立木販売及び治山事業の現場において、死亡災害を含む労働災害が頻発し、大変憂慮すべき年となりました。会員の皆様には、現場の安全対策を改めて徹底していただき、森林土木工事における労働災害の撲滅に向け、一層のご理解とご協

力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、東京林業土木協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年 元旦

令和6年度 主な協会活動報告

■ 東京林業土木協会定時総会及び治山・林道工事コンクール受賞報告会

令和6年度の定時総会は、3月7日「ホテルイースト21東京」で開催しました。

定時総会では、小野会長の挨拶、来賓として林土連堂本専務理事から祝辞をいただき、引き続き議事に入り、令和5年度事業報告、決算報告及び会計監査報告、公益目的実施報告が説明され承認されました。続いて令和6年度の事業計画及び予算書が説明され役員改選に移り、選考委員により理事及び監事の改選があり、今回の改選では天野工業(株)中田洋二氏、(株)中村組小粥孝政氏、(株)鈴木組杉浦要一氏が新しく理事に就任しました。

新たな役員により臨時理事会を経て、河津市元副会長が会長に就任しました。

その後、開催された「治山・林道工事コンクール受賞報告会」には、来賓として、関東森林管理局次長（東京事務所長）江坂様、森林整備部長川浪様、治山課長野澤様、林土連専務理事堂本様が出席され受賞報告会が開催されました。

受賞報告会では、2月15日林野庁治山・林道工事コンクールで長官賞を受賞された小野建設(株)小野大和様、河津建設(株)河津市元様、同日林土連定時総会で、林土連会長表彰を受賞された植野興業(株)植野正様に会長から記念品の贈呈がありました。

また、林野庁長官賞及び関東森林管理局長賞の受賞工事を担当した現場代理人、主任技術者にも記念品が贈られました。



定時総会（小野会長挨拶）



来賓挨拶（堂本専務理事）



新任理事（中田・小粥・杉浦氏）



退任（中村紘八氏）



退任（谷内政雄氏）



退任（平野 治氏）

治山・林道工事コンクール受賞報告会



江坂東京事務所長



来賓の皆様



受賞報告会（受賞者と来賓の皆様）

総会後の懇親会で、改めて小野前会長、河津新会長の挨拶があり、親交のある前田元林野庁長官からもご挨拶をいただきました。



小野前会長



河津新会長



前田元林野庁長官

■ 林野庁長官賞「治山・林道工事コンクール表彰式」

2月15日林野庁長官室において、令和5年度治山・林道工事コンクール林野庁長官賞の表彰式が行われ、治山部門で小野建設(株)、河津建設(株)が受賞されました。

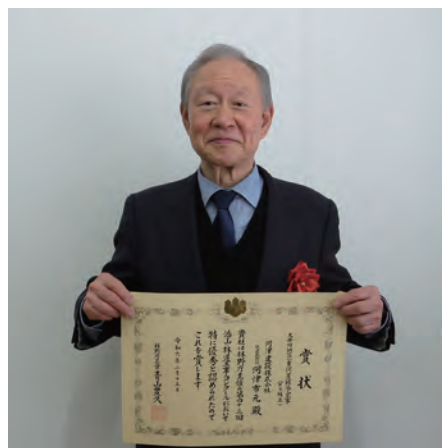
林野庁長官賞受賞工事（治山部門）



「小山地区(奥の沢川10)直轄治山工事(R3補正)」 小野建設(株)



「大井川地区(東沢)直轄治山工事(R3補正)」 河津建設(株)



■ 林土連定時総会での表彰

2月15日林野庁表彰を受け、林土連定時総会においても表彰が行われました。また、林土連の発展に寄与された植野興業(株)植野正様に林土連会長表賞の授与式が行われました。



林野庁長官表彰治山部門受賞者



林土連会長表彰受賞者

■ 関東森林管理局賞「治山・林道工事コンクール表彰式」

2月28日関東森林管理局において治山・林道工事コンクールの関東森林管理局長賞表彰式が行われ、関東森林管理局志知局長から表彰状が授与されました。当協会会員から治山部門で5件 小野建設(株)、河津建設(株)、天野工業(株)、(株)木村組、(株)ヤマエイ長島建設、林道部門で1件 河津建設(株)が受賞し表彰されました。

また、2月15日に農林水産省において林野庁長官賞を受賞された小野建設(株)現場代理人 芹沢雅史様 河津建設(株)現場代理人 笹原友紀様に関東森林管理局長賞が授与されました。

表彰式終了後、局長室において工事概要報告及び、受賞者と意見交換を行いました。



治山部門受賞者



林道部門受賞者



芹沢雅史様



笹原友紀様



局長室での意見交換(局長、次長、担当部長、担当課長、受賞者)

■「治山・林道工事コンクール」受賞工事

治山・林道工事コンクールの林野庁長官、関東森林管理局長賞表彰の工事は以下のとおりです。
林野庁長官表彰工事の、現場代理人・主任技術者等は関東森林管理局長表彰。
関東森林管理局長賞工事の、現場代理人・主任技術者等は東京林業土木協会会長表彰。

【林野庁長官賞】（治山部門）

テーマ	署等	工事名	会社名	代表者	現場代理人	監理技術者
施工管理	静岡	小山地区（奥の沢川10）直轄治山工事（R3補正）	小野建設㈱	小野 大和	芹沢 雅史	芹沢 雅史
施工管理	大井川センター	大井川地区（東沢）直轄治山工事（R3補正）	河津建設㈱	河津 市元	笹原 友紀	笹原 友紀

【関東森林管理局長賞】（治山部門）

テーマ	署等	工事名	会社名	代表者	現場代理人	主任技術者
技術提案	伊豆	滑沢地区復旧治山工事（R3ゼロ国）	小野建設㈱	小野 大和	中山 聖一	中山 聖一
技術提案	大井川センター	大井川地区（ホーキ薙）直轄治山工事（R3ゼロ国）	河津建設㈱	河津 市元	田畑 嘉紀	監理技術者 田畑 嘉紀
施工管理	山梨	野呂川地区（ゴウロ沢）直轄治山工事	天野工業㈱	天野 一	小口 淳	小口 淳
施工管理	静岡	大日沢地区（第二工区）復旧治山工事（R3ゼロ国）	㈱木村組	西條 誠之	高木 憲恒	高木 憲恒
施工管理	大井川センター	大井川地区（東河内）直轄治山工事（R3ゼロ国）	㈱ヤマエ長島建設	長島 吉治	中村 晃	中村 晃

【関東森林管理局長賞】（林道部門）

テーマ	署等	工事名	会社名	代表者	現場代理人	主任技術者
施工管理	東神	法行沢林業専用道新設工事事	河津建設㈱	河津 市元	小澤 仁	小林 弘和

■ 三嶋大社で「安全祈願」



会員皆さんによる安全祈願（静岡県三嶋大社 4月23日）



■ 令和6年度「東京協会幹部視察研修会」

令和6年度当協会の幹部視察研修会は、海外研修に当たる年ではありますが円安の影響が大きいことから国内で調整の結果、6月17日、18日にかけて20名が参加し、都内の日本の伝統的な場所巡り等となりました。

初日は、浅草に集合しもんじゃ焼きで昼食後、浅草演芸ホールで落語等を満喫、仲見世商店街「浅草寺」に参拝し雷門を抜け、今年のミス日本みどりの大使「安藤きらり」さんを招き、屋形船で隅田川船上からの夕食となりました。



昼食のもんじゃ焼き



浅草演芸ホール



雷門



屋形船乗船前（スカイツリーをバックに）



ミス日本みどりの大使
安藤きらりさん

翌日は、国の重要文化財「旧岩崎邸」の洋館、和館、撞球室の見学、鳩山一郎氏により建てられ改修された「鳩山会館」の見学後、「ホテル椿山荘東京」で昼食となり、2日目は晴天であればそれぞれの庭園を満喫する予定でしたがあいにくの雨により、館内から各庭園眺望となりました。会員からも個人ではなかなか見られない場所を見学出来て良かったとの感想がありました。



旧岩崎邸



鳩山会館



椿山荘庭園

■「森林土木工事における適正な発注事務に関する説明会」に参加

関東森林管理局大会議室において、6月13日「選ばれる森林土木」キャラバンが開催され、林野庁業務課を中心とした説明者、建設機械の日立建機日本(株)、発注者である関東森林管理局治山・林道担当者、局近隣の署等担当者、受注者である(一社)前橋林業土木協会、(一社)東京林業土木協会各代表が出席し、管内の関係職員もWebで参加しました。

説明会は、昨年度から全国の森林管理局で実施しており、森林土木工事の現状や工事の積算等の改善の今までの取組、今後新たに実施する取組、ICTの活用事例など具体的な説明を受けました。

質疑応答では、各協会の会員からの意見要望に基づき林野庁からの説明、関東森林管理局も共通の問題提起となり、今後の工事施工に役立つことが期待されます。



■ 森林土木施工管理講習会を開催

令和6年度の森林土木施工管理講習会は、「ホテルイースト21東京」において7月31日、主任技術者・現場代理人等65名が参加し開催しました。

午前中の講義は、小野建設(株)中村土木部長、渡邊工事部長から「森林におけるICTの活用」と題して、山間部における起工測量、3D設計データの作成例、マシンガイダンスシステム、点群データを活用した植生工の面積や土工量の積算など、具体的なICT技術の活用の紹介に加え、業務効率化スマホアプリや山間部の通信障害がある箇所での衛星通信技術の紹介、さらには治山・林道における今後のICT活用工事の進め方についても説明がありました。



会場の様子



中村土木部長



渡邊工事長

午後は、関東森林管理局村松治山課長から「森林土木工事における施工上の留意事項」「選ばれる森林土木」の取組、ICT活用工事の取組事例、令和6年度積算基準等の主な改正内容について等の説明があり、その後、東京事務所板倉上席技術指導官から「森林土木工事における留意事項」と題して治山事業における設計基準の説明、設計変更のガイドライン等現場の担当者への参考となる講義がありました。



村松治山課長



板倉上席技術指導官



会場からの質疑

■ 林土連及び各協会で講習 「小野建設(株)」

当協会の森林土木施工管理講習会において、小野建設(株)中村土木部長と渡邊工事部長からの「森林におけるICTの活用」の講義が好評であったことから、9月6日林土連の事務局長会議でも、講師となり同様の講義を実施しました。林野庁の担当幹部職員、全国各協会事務局長が受講し、今まで実践的なICT活用事例等の講義が少なかったため参考になったこと、及び2Dの図面から3Dに変換が簡単に出来る技術について林野庁でも好評を博しました。

さらに、青森協会の施工技術研修会で同様の講習依頼があり、10月28日岩手県滝沢市「岩手産業文化センター」において講義をしました。



林野庁を含め全国的にICT活用講義が話題になっていたことを受け、関東森林管理局及び当協会でも11月26日年末の各種合同委員会において、技術安全委員会を中心に、改めて中村部長から講習を受けました。

当日関東森林管理局から村松治山課長、緒方森林整備課長、板倉上席技術指導官も同席し業務説明等を受け意見交換をしました。



関東森林管理局からの説明



アバターの仮想現場移動



合同委員会等参加者

■ 能登半島地震に係る「災害義援金」寄付



令和6年1月に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため、石川県に義援金を送ることを令和6年第2回理事会において承認され、左記金額を振り込みしました。

なお、義援金の内容については、「石川県共同募金会」の令和6年能登半島地震災害義援金ホームページ「義援金をお寄せいただいた方々」でも確認できます。(順番10,091)

■ 林土連「技術現地研修会」(広島)を開催

令和6年度の林土連技術現地研修会は、10月22～23日広島市、東広島市において「平成30年7月広島豪雨災害からの復旧・復興」のタイトルで開催されました。

初日は室内研修で、2023年5月「G7広島サミット」が行われた「グランドプリンスホテル広島」の会場で、林土連新谷会長の挨拶、高橋近畿中国森林管理局長から来賓挨拶、中井治山課長から「近畿中国森林管理局における治山事業の取組み」の説明がありました。



(高橋局長挨拶)



(中井治山課長説明)



(ホテル内)



翌日は、広島平和記念公園の広島平和都市記念碑、平和の灯、原爆ドーム、資料館を見学し、一瞬にして街を消滅してしまう原子爆弾の恐ろしさを改めて感じました。また、資料館では修学旅行生も多く、悲惨な写真を見て気分が悪くなる生徒を多数見かけました。

その後、平成30年7月の豪雨を受け、民有林直轄治山事業を行っている東広島地区の黒瀬区域の山腹工事が一望できる場所へ移動し、広島森林管理署坂後山地災害復旧対策室長から、山腹崩壊や土石流が発生し、県道が通行止めになったほか、山腹北側にある大学キャンパスにも被害を及ぼした状況や工事の概要等の復興状況の説明を受けました。



(山腹復旧状況全景)



(坂後室長状況説明)

■ 林土連「技術担当者連絡協議会」に出席

11月18日DAYS赤坂見附において、技術担当者連絡協議会が林土連主催で開催され、林野庁担当者、全国協会会員含め42名が出席しました。当協会から植野副会長、事務局が参加しました。

会議は木下林土連技術安全委員長の挨拶の後、各協会から提出された改善要望事項について、林野庁から回答、説明があり活発な意見交換が行なわれました。



木下委員長挨拶

■ 林土連「コンプライアンス講習会・労働災害防止研修会」を受講

林土連主催で、11月19日DAYS赤坂見附において、コンプライアンス講習会及び労働災害防止研修会が開催され、当協会からは大藤コンプライアンス委員長、及び事務局が出席しました。研修会は田中林土連コンプライアンス委員長の挨拶の後、林野庁林政課河野監査室長から「発注者綱紀保持について」講義があり、農林水産省発注者綱紀保持規定の説明がありました。

その後、河津会長も出席し、酒井東京大学名誉教授から「世界の林道」の講義があり、日本の林道と比べそれぞれの国において使われ方の違い等が分かりました。



河野監査室長



酒井東京大学名誉教授

■ 「2024治山・林道のつどい」へ参加

11月20日海運クラブにおいて「2024治山・林道のつどい」に、当協会から河津会長・大藤副会長、中村建設(株)渡部東京支店長、小野建設(株)小口首都圏土木部長、及び事務局が出席しました。

この会議は、頻発する山地災害や森林・林道被害を受け、地域の社会基盤である森林・山村を守るため、治山事業及び森林整備事業による「緑の国土強靱化」、国産材の安定かつ持続的な供給体制構築のための災害に強い林道等路網整備の強力な推進、森林吸収源対策の着実な推進、花粉症対策の加速化等に向けた林野公共予算の確保・拡充を実現するため、関係者一丸となった活動・要請を行うことを目的として開催されました。林土連からは新谷会長の挨拶、現場からの声を田中青森協会会長（青森治山システム協会理事）「緑の国土強靱化」の推進の説明がありました。



林土連田中青森協会会長

■ 令和6年度 技術安全会議及び安全パトロール

実施日	地 区	実施場所	実施内容	参 加 者
4.23	協 会	三 島 市	安全祈願・安全会議	東京事務所 ※全会員
5.29	協 会	書 面	技術安全委員会	(台風1号による豪雨のため) ※技術安全委員
6.25	山 梨	甲 府 市 内	安全祈願	山梨所 ※地区会員
7.26	静 岡 西 部	浜 松 市 内	安全会議	※地区会員
7.31	協 会	江 東 区 内	施工管理講習会	関東局 東京事務所 ※全会員
8.9	静 岡 東 部	伊 豆 市	安全祈願	伊豆署 ※地区会員
9.26	静 岡 中 部	静 岡 市	安全パトロール・技術安全会議	※地区会員
9.30	静 岡 東 部	河 津 町	安全パトロール・技術安全会議	伊豆署 下田労基署 ※地区会員
10.4	山 梨	野 呂 川 地区	安全パトロール・技術安全会議	山梨所 甲府労基署 ※地区会員
10.8	茨 城	北 茨 城 市	安全パトロール・技術安全会議	茨城署 日立労基署 ※地区会員
10.17	静 岡 西 部	掛 川 市 内	安全パトロール・技術安全会議	天竜署 磐田労基署 ※地区会員外
11.6	山 梨	小 山 地区	安全パトロール・技術安全会議	山梨所 静岡署 ※地区会員
11.26	協 会	江 東 区 内	技術安全委員会	関東局 東京事務所 ※技術安全委員

安全祈願
山梨地区
武田神社



静岡東部地区
湯ヶ島国有林
山神社



山梨地区 野呂川（大崩沢）



野呂川（コワシ崩）



野呂川（ゴウロ沢）



茨城地区 小松沢地区災害関連緊急治山工事



静岡中部地区 室内会議



梅ヶ島地区（西日影沢）復旧治山工事



静岡東部地区 河津川地区復旧治山工事



室内会議



静岡西部地区 室内会議



南西地区復旧治山工事



■ 令和6年度 ボランティア活動実施状況

地 区	場 所	実施日	作 業 内 容	実 施 会 社
茨 城	茨 城 署 管 内	11.8	林道沿線の草刈等	(株)大藤組、(株)根本組、(株)龍崎工務店
山 梨	山 梨 所 管 内	11.28	林道沿線の草刈・ゴミ収集等	天野工業(株)、植野興業(株)、国際建設(株)、 小林建設(株)、清水建設興業(株)、 中沢工業(株)、扶桑建設(株)
静岡東部	伊 豆 署 管 内	10.31	カーブミラーの清掃・林道沿線の草刈 り及びゴミ拾い	東海建設(株)、(株)泉建設、小野建設(株)、 河津建設(株)
静岡中部	静 岡 署 管 内	9.9	林道沿線のゴミ拾い、支障枝・雑草の 除去、カーブミラーの清掃	佐野藤建設(株)
		9.12・13	林道沿線の草刈り・ゴミ拾い、カーブ ミラーの清掃	(株)白鳥建設
		10.21	林道沿線の草刈り・ゴミ拾い	(株)木村組
		10.23	カーブミラー清掃・ゲート周辺及び林 道沿線の草刈り	小野建設(株)
静岡西部	天 竜 署 管 内	9.28	道路路面・側溝の清掃及び崩土堆積土 除去、道路路肩草刈り、遊歩道の清掃 及び草刈り	(株)渡辺兄弟工業、(株)戸田建設、(株)中村組、 (株)川島組、正光建設(株)、(株)鈴木組、 三協建設(株)、中村建設(株)、(株)正久工業
大 井 川	大井川治山セ管内	11.7	林道路面補修等	河津建設(株)、(株)柳澤組
		11.29	横断側溝清掃、カーブミラー清掃	(株)梶山組



茨城地区

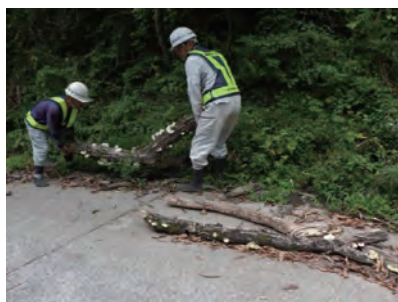


山梨地区





静岡東部地区



静岡中部地区



静岡西部地区



大井川地区

■「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査」

趣 旨

この調査は、林業土木事業で使用する木製構造物の経年変化を長期にわたり観察調査し、施設の構造、規格、施工性及び維持管理方法等を策定する基礎資料とするための調査です。

調査の企画、調査の実施、進行管理等の総括は(一社)日本林業土木連合協会が行い、具体的な現地調査、取りまとめの実施は各土木協会が実施します。

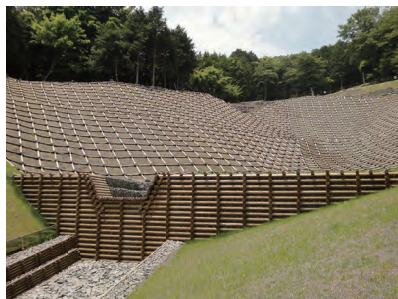
対象調査工作物は、木材の損症状況、施設の機能発揮状況等について行い、調査結果は毎年一定期間に取りまとめ選定した各施工箇所の評価は5年毎に行います。

木製構造物を設置してから15年経過した箇所（5年毎の第1回調査から3巡目）の令和6年度調査は、静岡森林管理署管内「小山湯船沢治山工事（3次補正）」山腹木製法枠工、木製治山ダムの経過調査を実施しました。

山腹木製法枠工

前回調査と比較して、緑化が進み施工時と同様の状況で、接地面とその他の箇所での差は見られませんでした。調査時ススキ等が生い茂り草刈りをしないと調査出来ない状態であり、治山事業の目的は果たしています。

全景



H26（2014）調査



R元（2019）調査



R6（2024）調査

詳細



H26（2014）調査



R元（2019）調査



R6（2024）調査

木製治山ダム

前回調査と比較して、乾燥による部材の割れが大きくなり、越流部にはコケの付着が見られましたがダムの損傷はほとんど見られませんでした。

全景



H26 (2014) 調査



R元 (2019) 調査

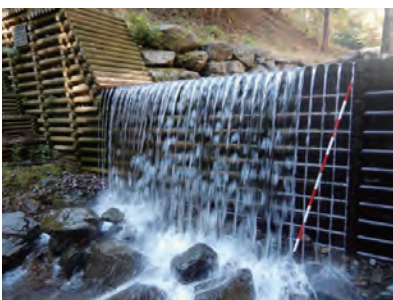


R6 (2024) 調査

詳細



H26 (2014) 調査



R元 (2019) 調査



R6 (2024) 調査

■ 第27回「森林は友達！作文コンクール」を開催

令和6年度の第27回「森林は友達！作文コンクール」は23団体（小学校21校、団体2）から1,459名の応募がありました。

各学校及び署等において第1次、第2次審査を行い、最終審査に残った35作品を令和6年1月13日に審査委員会開催、その結果下記のとおり受賞者が決定され、2月29日「林野庁関東森林管理局東京事務所」で、最優秀賞、優秀賞、優良賞の表彰式を行いました。

- | | |
|-----------------|-----|
| ①最優秀賞（林野庁長官） | 1点 |
| ②優秀賞（関東森林管理局長） | 3点 |
| ③優良賞（東京林業土木協会長） | 6点 |
| ④努力賞（東京林業土木協会長） | 14点 |

趣 旨

これから未来を担う小学生（4年生～6年生）を対象に、森林や林業に対する理解や関心をより一層深めてもらうことを目的として、平成10年度から開催しています。

この作文コンクールは、旧東京分局管内1都6県に所在する森林管理署や高尾森林ふれあいセンター等で開催された「森林教室・体験林業」に参加した小学生を対象に作文を募集し、作文コンクール審査委員会で最終審査を行い林野庁長官賞をはじめ毎回表彰しています。

◇審査委員

東京林業土木協会	森林文化委員	2名
学識経験者		2名
関係省庁		2名
計		6名



審査委員会



参加記念品
(木製温度計)



小林審査委員長挨拶



江坂東京事務所長お祝いの言葉



最優秀賞（林野庁長官賞）
西東京市立向台小学校 5年生 佐藤 いずみ 和 さん



最優秀賞作品朗読



受賞者・江坂東京事務所長・審査委員

第27回「森林は友達！作文コンクール」受賞者

賞 名	団体名	学年	氏 名	作 品 名
最優秀賞 (林野庁長官賞)	西東京市立向台小学校	5年生	佐 藤 和	木と私、「対等」という事
優 秀 賞 (関東森林管理局長賞)	八王子市立元八王子東小学校	5年生	土 屋 知 優	大切な森林
〃	多摩市立連光寺小学校	5年生	宮 部 円 花	炭焼きと環境
〃	相模女子大学小学部	4年生	山 下 詩 織	木を切るのは悪いことではない？
優 良 賞 (東京林業土木協会長賞)	板橋区立高島第六小学校	5年生	大 石 空	高尾山に行って
〃	西東京市立向台小学校	5年生	小 幡 恵 珠	自然豊かな高尾山
〃	浜松市立水窪小学校	5年生	坂 本 那 実	森林について学べた校外学習
〃	西東京市立谷戸小学校	5年生	須 藤 芹 菜	森林のため、地球のため
〃	調布市立富士見台小学校	5年生	武 下 仁 奈	林業と森林について
〃	世田谷区立松沢小学校	5年生	那 知 蒼	社会科見学で学んだこと
努 力 賞 (東京林業土木協会会長賞)	八王子市立上川口小学校	5年生	青 木 麗 夏	地球環境と竹
〃	東村山市立化成小学校	5年生	石 井 昊	森の大切さ
〃	中野区立中野本郷小学校	5年生	宇都宮 あさひ	森林とふれて学んだこと
〃	甲府市立里垣小学校	5年生	大 石 夏 帆	初めてばかりの学校林
〃	ガールスカウト千葉市協議会	5年生	大 関 ゆ い	役に立つ森林
〃	町田市立成瀬中央小学校	5年生	木 目 田 楓 果	守られている森林
〃	八王子市立秋葉台小学校	5年生	紺 野 南 美	森林と水は人の友達
〃	東村山市立南台小学校	5年生	塩 崎 愛 佳	森林学習で学んだこと
〃	横浜市立美しが丘小学校	4年生	園 尾 み な 実	森林体験で学んだ森林のみ力
〃	中野区立江古田小学校	5年生	嵩 原 叶 子	みどりを増やしたい
〃	横浜市立羽沢小学校	5年生	竹 下 香 春	おもしろい生き物
〃	学童保育園子コロッコロ	6年生	中 村 航	森林教室を終えて
〃	甲府市立相川小学校	5年生	深 澤 り ん	間伐体験から学んだこと
〃	東村山市立北山小学校	5年生	吉 野 航 世	森林学習

木と私、「対等」という事

西東京市立向台小学校 5年 佐藤 和いずみ

私は、今回の体験を通して、森林とは対等なのだと思えることが出来た。以前まで森林とは、人の手を借りなければ環境が保たれないものだと思っていた。最近特に、森林保護などのニュースをよく聞く、その表面だけを見て、勝手に自然よりも人の方が上だと考えていた。

気持ちが変わるきっかけとなったのは、森林学習の時の事だ。森林にある1本1本の木は、他の生き物のすみかになり、地球温暖化を防止する一環として二酸化炭素を取り込み酸素を生み出していた。そして、根を張り、山全体を支え、私達が使う水を蓄えてくれていた。私は、この事に衝撃を受けた。木なんて一生生まれた場所について、さぞかしつまらない人生を送っているだろう、と哀想に思っていたのだ。だが、実際は生まれた場所で、一生をかけて誰かのために生きていたのだ。啞然としたまま受けた丸太切り体験は私の気持ちを倍増させるものだった。スギの木を手にとった瞬間、「木」という存在にまた驚かされた。想像以上に重かったからだ。いくら木でもここまで重くはないと思っていた数分前とは打って変わって、堂々とした立派な木に驚嘆した。

驚いたのはその事だけではない。森林に足を踏み入れてみても驚くことが沢山あった。まず、葉っぱには匂いがある事だ。当たり前と言えそうだが、どれも違う匂いでそれぞれに特徴があった。柑橘類のようなスツキリとした爽やかな匂いがあれば、とても、言葉にできない、ともかく凄い強烈な匂いもあった。私は、天敵が寄りつかないようにしていると思った。脳みそが無

いのに凄い、と感心した。そして、どの葉にも人のようにオリジナル性がある事だ。笛のような音を出せる葉もあれば、こする事でお金を綺麗にピカピカにした葉もあった。人と同じように、どの種類にもそれぞれ特有の性質があり、面白いと思った。

私は、森林の面白さ、偉大さ、重要さを通して、人と森林が対等だと思える。私は、誰かの家になる事も、自力で二酸化炭素と酸素を入れ替える事も、山を崩さないように水を溜める事も出来ない。しかし、だからと言って木が堂々と道を歩くのも難しいだろう。だから「対等」なのだ。どちらかが上でも下でもない、同じ立場なのだ。それ故に、片方が片方を傷つける事はあつてはならないと思う。地球温暖化もそうだ。実際、人が森林をはじめとした自然界を、以前の私のような考えで踏みにじっている。それなのに自然界が被害を受けている。それでも自然界は今まで通りに人間を支えてくれている。私達人間は、もっと自然と共存して生き姿勢を持った方が良いと思う。無論、もっていないと言っているわけではない。自然を今以上に守るべきだと言う事だ。木と私、「対等」という事を忘れず、これからは自然を守って行きたい。



協会今後の行事予定

- | | |
|-------|------------|
| 1月23日 | 林土連第1回理事会 |
| 1月24日 | 東京協会第1回理事会 |
| 2月18日 | 林土連定時総会 |
| 2月28日 | 作文コンクール表彰式 |
| 3月6日 | 東京協会定時総会 |